

会議要旨

会議の名称	第1回 行田市障害者計画策定委員会		
開催日時	平成29年10月23日(月) 13:00~14:30		
開催場所	行田市役所203会議室		
事務局(担当課)	健康福祉課		
出席	委員	島田委員(会長)、風間委員(副会長)、関口委員、小巻委員、薄田委員、松本委員、根本委員、木村委員、渡辺委員、加村委員、桐ヶ谷委員、岩田委員、久保田委員	
	その他	工藤市長	
	事務局	健康福祉部:小池部長 健康福祉課:夏目課長、岡戸、吉場	
欠席	久保田委員		
議題	議事:(1)障がい者計画策定について (2)アンケート調査について (3)関係団体ヒアリングについて (4)次回予定について (5)その他		
会議次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 挨拶 4 正副委員長選任 5 議題 6 閉会		

配布資料

- | | | |
|---|-------------------------|-----|
| 1 | 次第 | |
| 2 | 行田市障がい者計画策定について | 資料1 |
| 3 | 行田市障がい者計画骨子案 | 資料2 |
| 4 | 行田市障がい者計画策定に向けたヒアリング調査票 | |
| 5 | 行田市障がい者計画改定の為のアンケート調査1 | 資料3 |
| 6 | 行田市障がい者計画改定の為のアンケート調査2 | 資料4 |
| 7 | 要綱 | |

1 開会

2 委嘱状交付

(工藤市長より代表として関口委員へ委嘱状を交付)

3 挨拶

市長 障がい者計画は障害者基本法並びに障害者総合支援法に基づく法定計画であります。現行の計画期間が今年度末をもって終了する為、新たに平成 30 年度からの 6 年間の計画の期間として策定するものでございます。本計画には障害のある方が住み慣れた地域で、安心して暮らしていくことができるよう、障害福祉サービスの必要な見込み量や提供体制の確保にかかる目標などを盛り込んで参ります。

また、障害のある方の自立と社会参加を進めて行くと共に、障害の有無に関らず、共に支え合う共生社会の実現を図っていく為、教育・就労・権利擁護等の分野においても、各種施策を盛り込んで参る所存でございます。本計画は今後 6 年間の障害者福祉施策全般の指針となる重要な計画であります。委員の皆様にはそれぞれの立場から忌憚のないご意見をお願い申し上げます。行田市では今後とも、誰もが安心安全に暮らせる街、行田の実現に向け全力で取り組んで参りますので、お願い申し上げます。

(市長退出)

4 正副委員長選任

(事務局一任により、島田委員と風間委員を委員長、副委員長に選任)

5 議題

(1) 障がい者計画策定について

(事務局より内容説明)

(1) アンケート調査について

(事務局より内容説明)

- 久保田委員 事務局に質問です。内部障害者や難病者の意見についてはヒアリングで聞いているのでしょうか。
- 事務局 手帳をお持ちの方の中には内部障害の方もいらっしゃいます。障害者の方に向けてアンケート調査を行っており、アンケート調査の結果は現在分析中で、次回の会議の際に報告させていただきます。
- 久保田委員 身体障害手帳をお持ちの方、全員にアンケートをお送りしています。
- 事務局 難病者の方は加須市の保健所に登録しています。
- 事務局 アンケート調査では手帳をお持ちの方に対してアンケートをお送りしており、その中に難病の方もいらっしゃると思いますが、難病の方の名簿を調べてはいません。今後、団体等へのアンケートの中で難病の方の状況をよく調べた上で検討していきたいと思います。
- 木村委員 なぜ副委員長が風間委員になったのでしょうか。福祉にまだ慣れていないのになぜでしょうか。
- 事務局 区分ということで、社会福祉施設代表の委員、社会福祉障害者団体の委員、学識経験がある委員という中で、委員長に関しては、島田民生児童委員連合会の会長、副委員長に関しては社会福祉施設の委員、障害者団体の委員については色々な立場からご意見を頂きたいと思っています。ご意見を頂くことが第一であり、副委員長には取りまとめ等があります。その中で、広域性の高い風間委員を副委員長として選出したという考えです。
- 事務局 スケジュールの補足ですが、12月以降の2回目以降は毎月という形になりますが、宜しくお願い致します。
- 渡辺委員 スケジュールについて、早めの日程調整と資料配布をお願いしたいです。会議の席で目を通すのではうまく説明ができない場合があります、事前に頂き、目を通してから参加できれば、スムーズに委員会が運営できるかと思います。

(2) 関係団体ヒアリングについて

(事務局より内容説明)

- 島田委員長 関係団体ヒアリングについては皆様方、それぞれの活動の中で気づく点があるのではと思います。何かお気づきの点を述べていただければと思います。
- 木村委員 ヒアリングは障害者団体や施設も対象になるのでしょうか。
- 事務局 本日、出席頂いている各障害者団体の方にまず、ヒアリングも調査お伺いしたいと思っております。障害者施設の方については、このヒアリング調査票では馴染めない部分があるので、障害者ネットワークと協議させて頂き、進めていきたいと思っております。
- 木村委員 3ページの2番のような選択肢や、記入例があるといいのではないのでしょうか。4ページの5番アンケートに相談の充実があります。資料3 19ページの問 45 12番「障がいのある人の生活を支援するための情報提供や相談体制を充実する」の例のような相談内容が書けるようにしてあるといいです。例えば、就労のことや福祉サービスのことなどや施設のことや障害者の生活全般の相談のことなどが書けるような例題があると書きやすいと思っております。
- 島田委員 木村委員は具体例が欲しいのではないのでしょうか。
- 事務局 木村委員の考えも理解できます。しかし、代表者を含め、障害者団体の方はそれぞれの項目について、団体のことを一番理解しており、生活環境や相談、情報などについてもそれぞれの立場から色々な視点があるのではと思っております。記入例を示すのも一つの方法ですが、広い視野からお書き頂きたいと思っております。団体の方についてはこの白紙のままでも対応できるかと考えています。また、先ほどの障害者の施設のヒアリングについては障害者ネットワークとご相談とお話しましたが、考えとしては、障害者の事業所はそれぞれ法令に基づいて事業を行っています。しかしながら、任意の団体もあり、そういった団体に対しても馴染むかと思っております。事業者については法令に基づいて、障害福祉サービスを提供しているので、ヒアリング調査は馴染まないかと思っております。細かい部分は障害者ネットワークにご相談させて頂ければと思います。
- 久保田委員 ヒアリングについて、団体によって障害が異なるので書き方も異なってきます。例えば、視力障害者であれば交通機関などに重点を置いたり、同行援護であったりとその障害者団体によって違いがあるので、例がなくても障害者団体は可能かと思っております。実施はいつでしょうか。
- 事務局 11月中にお願いできればと思っております。

久保田委員 日時が分かれば理事会を開き、考えをまとめなくてはなりません。なるべく早くお願いしたいです。

事務局 期間については締め切り期間を長く設定させていただきます。例えば、本日も意見を頂き、どのような形かというご意見をまとめて頂ければ、委託業者と相談し、早急に調査書をまとめ、各団体に配布させて頂ければと思います。

(3) 次回の予定について

(事務局より内容説明)

木村委員 12月の2回も含め、1月の日時も教えて頂ければと思います。

事務局 正副委員長と協議させていただきます。

加村委員 アンケート調査について、全ての障害者の方を対象としているのであれば、ふりがなをつけて頂ければと思います。

事務局 アンケートの種類が4種類あり、手帳毎にアンケートを作成させて頂いています。その中で療育手帳をお持ちの方のアンケートに関しては全てふりがなをつけ、内容がよりわかりやすくなるよう変更しています。

島田委員長 加村委員は素晴らしい気づきだと思います。回答率が少しでもアップし、皆さんの意見が盛り込まれることに活かさせて頂ければと思います。

久保田委員 視覚障がいの方は点字や拡大文字で配布して頂いたのでしょうか。

事務局 その点に関しては申し訳ございません。点字も検討しましたが、私どもにスキルが無く、対応できませんでした。視力の方が答えられないという場合は事務局内で協議した結果、ご連絡を頂いた際には職員が読み上げ、ご回答頂くようにと相談させて頂いています。

久保田委員 その事だけでも点字で入れていただければと思います。

事務局 次回アンケートに反映しようと思います。

根本委員 関係者が非常に幅広いので、意見をまとめるのは難しいかと思います。皆様方が色々な意見を言い、我々も初めて聞くことも多いです。策定委員なので計画をまとめる方向で話を進めていく考え方で進めて行くことが良いかと思います。

関口委員 スケジュールについては、開催日程を第二火曜日という決まった日程にするのはいかがでしょうか。

事務局 正副委員長と協議させていただきます。

(5) その他

- 木村委員 今までの管理委員会は行うのでしょうか。
- 事務局 進行管理委員会については開催を予定しています。先行して、そちらの現状分析という形でこちらの計画の中に入れ込んでいきたいと思っています。
- 木村委員 出来れば管理委員会を早めにやって頂き、その結果に基づいて計画の方へ反映してもらいたいです。そのほうが活きた計画になると思います。
- 事務局 個別には現在の計画が最終年度ということで、項目が具体的な施策が多く、できているものとできていないものとを整備する必要があります。その部分を検証し、次回の計画に活かせるところは活かすと同時に県の指針も変わってきている部分もあるので、そういった部分も見据えながら総合的にやっていきたいと思っています。

6 閉会